

令和4年4月27日（水）
国土交通省 関東地方整備局
北首都国道事務所

— 記者発表資料 —

令和4年度 北首都国道事務所の事業概要

～東埼玉道路の整備、圏央道4車線化を推進～

北首都国道事務所は、国道4号 東埼玉道路及び首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の整備、国道298号（外環道）の維持管理を行っています。

令和4年度の主な事業は、以下のとおりです。

■ 国道4号 東埼玉道路（八潮～松伏）《専用部》【埼玉県】

八潮・草加地区において改良工事に着手するとともに、松伏地区の用地買収に着手します。

また、八潮～松伏間の調査設計、環境整備工事を実施します。

■ 国道4号 東埼玉道路（延伸）《一般部》【埼玉県】

吉川～春日部間の調査設計及び用地取得を推進するとともに、大落古利根川橋の橋梁上下部工事、中川側道橋及び中川連絡線橋の橋梁下部工事、吉川～春日部地区の改良工事を実施します。

《開通の見通し》吉川市川藤～松伏町田島 延長約3.8km「令和7年春頃※」開通予定
※用地取得等が順調に進んだ場合

■ 国道468号 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の4車線化【埼玉県・茨城県】

久喜白岡JCT（東北道）～大栄JCT（東関道）間の4車線化工事を実施※します。

※財政投融資を活用して、現行2車線の首都圏中央連絡自動車道（久喜白岡JCT～大栄JCT間）については、4車線化工事を実施。

■ 国道298号 東京外かく環状道路（交通安全事業）【埼玉県】

草加市八幡町地区の草加産業道路交差点において交差点改良工事を実施します。

また、戸田市美女木地区において、自転車通行帯整備に向けた調査設計を実施します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、
さいたま市政記者クラブ、茨城県政記者クラブ

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 関東地方整備局 北首都国道事務所	TEL:048-942-4041（代表）
副 所 長	川路 隆之（かわじ たかゆき）
計 画 課 長	永瀬 薫（ながせ かおる）

令和４年度 北首都国道事務所 事業費

(単位：百万円)

事業名		事業費
改築事業		4,044
	国道４号 東埼玉道路（八潮～松伏）	1,949
	国道４号 東埼玉道路（延伸）	2,095
交通安全事業（Ⅰ種）	国道２９８号 東京外かく環状道路（交通安全事業）	85
合 計		4,129

※上記の他、交通安全事業（Ⅱ種）、維持管理費、調査費等がある。

※北首都国道事務所関係予算とは別に、財政投融资を活用して、
現行２車線の首都圏中央連絡自動車道（久喜白岡ＪＣＴ～大栄ＪＣＴ間）については、
４車線化工事を実施。

北首都国道事務所の主な事業箇所

久喜白岡JCT

国道468号 首都圏中央連絡自動車道（4車線化）※

至 大栄JCT



凡 例	
——	高速自動車国道・有料道路
——	直轄国道
——	補助国道
——	主要地方道、一般都県道等

※尚、北首都国道事務所関係予算とは別に、財政投融資を活用して、現行2車線の久喜白岡JCT～大栄JCT間については、4車線化事業を実施します。

国道4号 東埼玉道路（八潮～松伏）《専用部》

令和4年度事業費：1,949百万円

【事業の概要】

東埼玉道路は、埼玉県八潮市（外環道交差部）を起点に春日部市（国道16号交差部）までの延長17.6kmの自動車専用部と一般部で計画されている道路です。

これまでに、一般部を先行して整備を進めてきましたが、令和2年度より八潮から松伏間（約9.5km）の自動車専用部についても、新たに事業に着手しました。

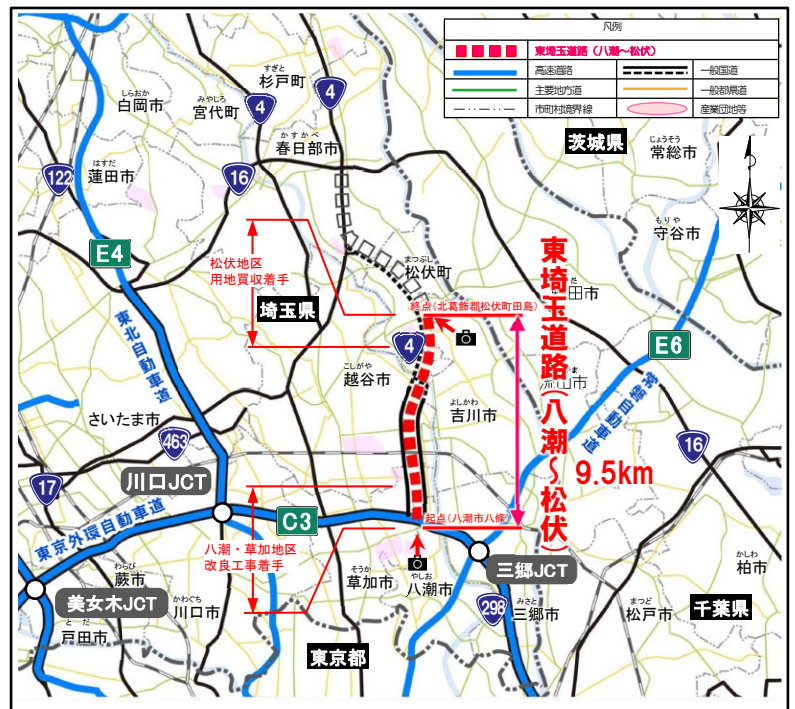
当事業は、埼玉県東部地域の交通渋滞の緩和や高速道路へのアクセス向上、沿線の開発事業を支援し、災害時にも機能する規格の高い道路ネットワークを構築することを目的としています。

【令和4年度の予定】

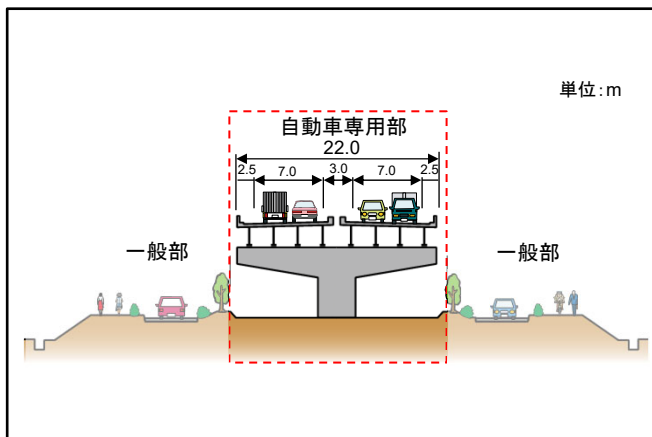
八潮・草加地区において、改良工事に着手するとともに、松伏地区の用地買収に着手します。

また、埼玉県八潮市から北葛飾郡松伏町間の調査設計、環境整備工事を実施します。

■位置図



■標準横断面図



■現地の状況（起点部）



■現地の状況（終点部）



（令和4年3月撮影）

（令和4年3月撮影）

令和4年度事業費：2,095百万円

ひがしさいたまどうろ

これまでに一般部（八潮市～吉川市区間）の延長 5. 7 km が開通しており、現在、
吉川市（開通区間終点部）から春日部市（国道 4 号接続部）までの延長 8. 7 km に
ついて、一般部の整備を行っています。

当事業は、国道４号の交通混雑緩和や産業団地など東埼玉道路沿線の開発事業を支援します。

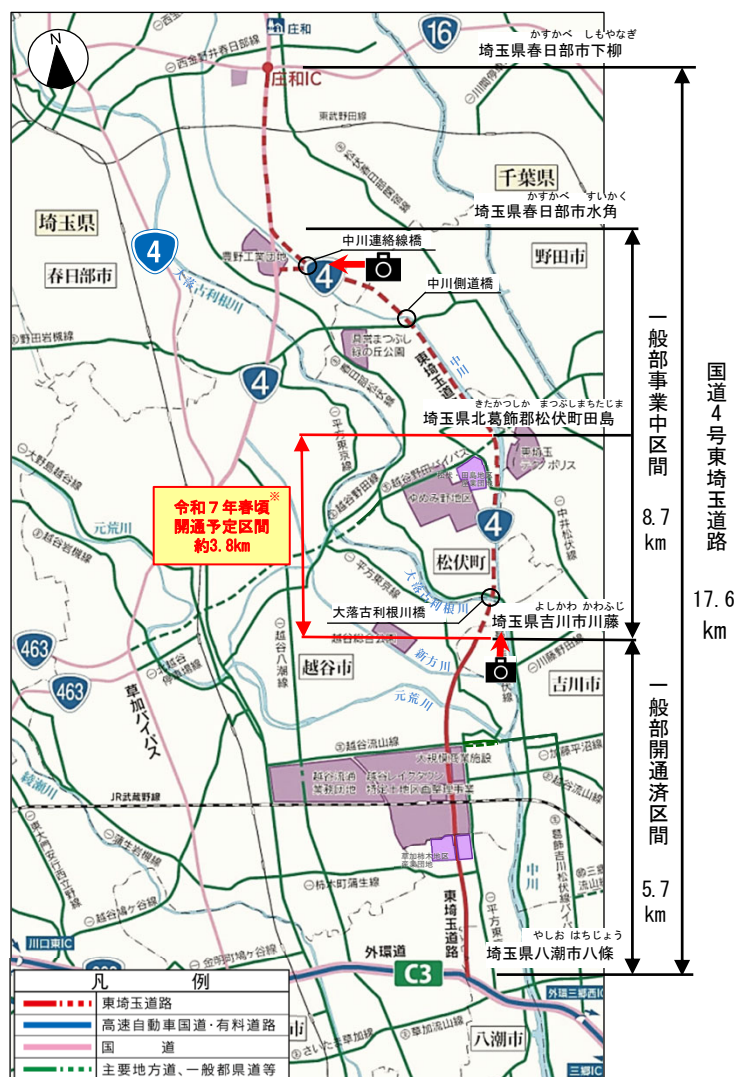
※用地取得等が順調に進んだ場合

よしかわ　　こしがや　　まつぶし　　かすかべ　　まつぶし
吉川、越谷、松伏、春日部地区の調査設計及び松伏地区の用地取得を推進します。

また、大落古利根川橋の橋梁上下部工事、中川側道橋及び中川連絡線橋の橋梁下部工事、吉川
春日部地区の改良工事を推進します。

(令和4年3月撮影)

(令和4年3月撮影)



※用地取得等が順調に進んだ場合

しゅとけんちゅうおううれんらくじどうしゃどう けんおうどう
国道468号 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）4車線化

【事業の概要】

しゅとけんちゅうおううれんらくじどうしゃどう

首都圏中央連絡自動車道は、首都圏の幹線道路の骨格となる3環状9放射の道路ネットワークを形成し、都心から半径およそ40km～60kmの位置に計画された総延長約300kmの環状の高規格幹線道路です。平成29年2月には茨城県区間が全線開通し、圏央道全体約300kmのうち約9割がつながりました。

【令和4年度の予定】

くししらおか

北首都国道事務所関係予算とは別に、財政投融資を活用して、現行2車線の久喜白岡JCT～大栄JCTについては、東日本高速道路株式会社と共に4車線化工事を実施します。

たいえい

埼玉県内においては、中川の橋梁上下部工事などを推進します。

なかがわ

とねがわ

きぬがわ

こかいがわ

茨城県内においては、利根川・鬼怒川・小貝川の各橋梁上下部工事などを推進します。

■幸手市付近



(令和4年3月撮影)

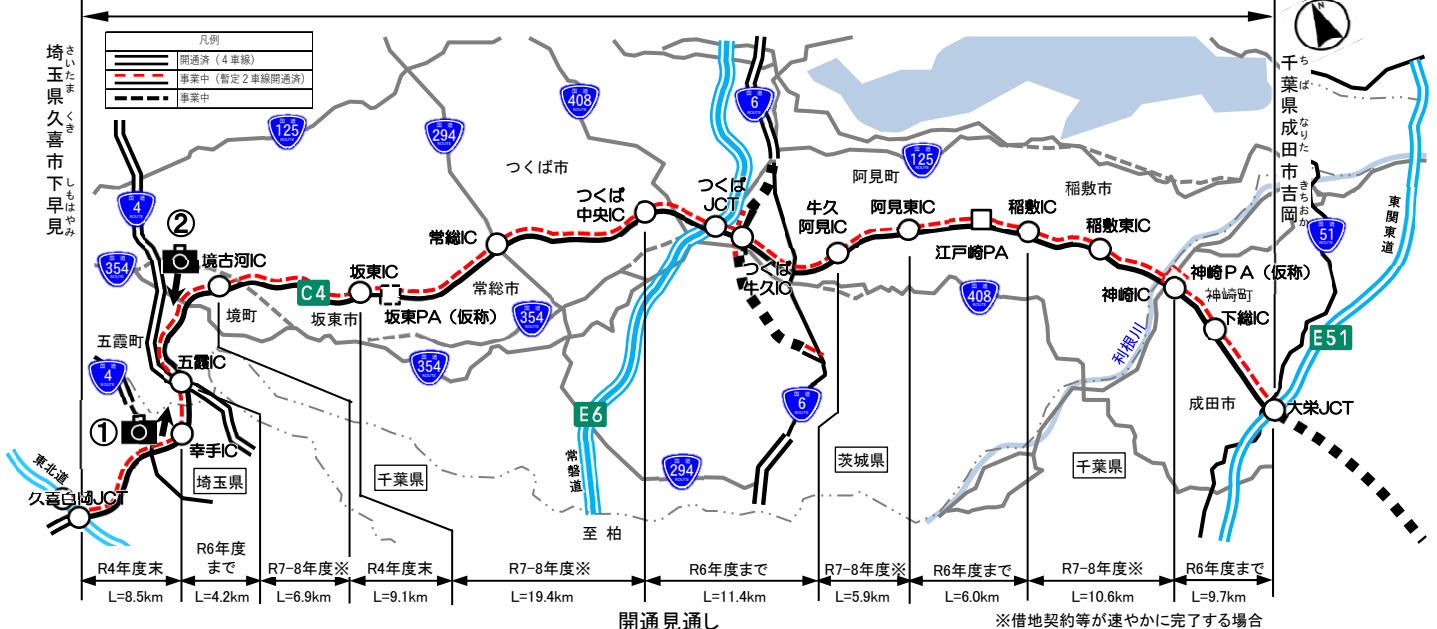
■利根川付近の施工状況



(令和4年2月撮影)

■事業位置図

国道468号首都圏中央連絡自動車道（久喜白岡JCT～大栄JCT） 延長92.2km



国道298号 東京外かく環状道路（交通安全事業）

令和4年度事業費：85百万円

【事業の概要】

埼玉県内の国道298号において、交通安全対策を実施します。

当事業により、国道298号の安全性の向上を図ります。

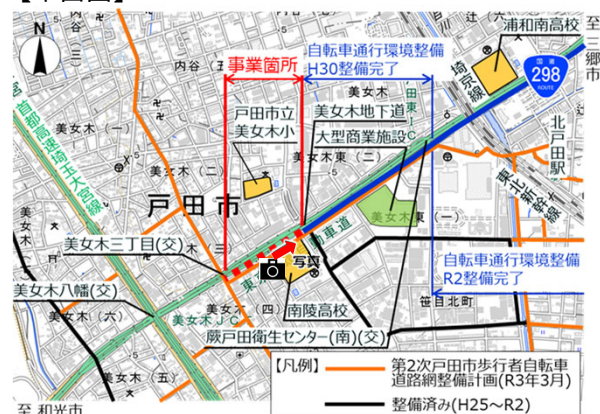
【令和4年度の予定】

草加市八幡町の草加産業道路交差点において、交差点から続く右折待ち車両が直進車線にあふれることによる追突事故対策として右折車線の延伸・前出し・減速路面標示の設置を行う交差点改良工事を実施します。また、戸田市美女木において自転車通行環境整備に向けた設計を実施します。



■戸田地区自転車通行環境整備

【平面図】

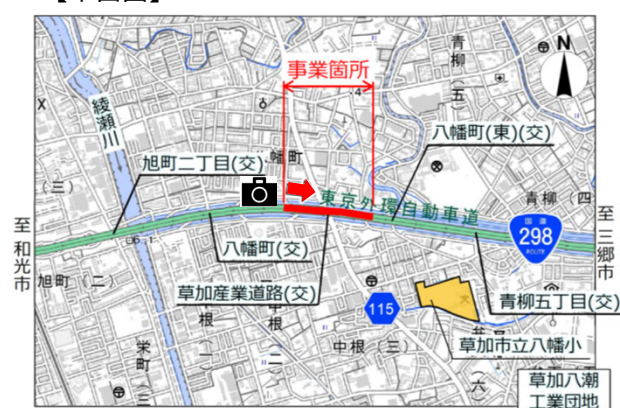


【現況写真】



■草加産業道路交差点改良

【平面図】



【現況写真】



とうきょうがい かんじょうどうろ
国道298号 東京外かく環状道路（維持管理）

【事業の概要】

埼玉県内の国道298号の延長30.6kmを管理しています。安全、安心な道路を維持していくため、道路の巡回、清掃、路面の補修、緑地帯の管理等を行っています。

また、重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保するため、橋梁等を定期的に点検して、劣化や損傷が生じた箇所を補修し、長寿命化を図っています。

【令和4年度の予定】

国道298号全線で、道路巡回、清掃、緑地管理等を実施します。

また、道路施設の計画的な点検及び修繕を実施します。



【位置図】



北首都国道事務所における各種取り組み（1／2）

【i-Constructionの推進】

「ICTの全面的な活用」等の施策を建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性を図り、魅力ある建設現場を目指す取り組みである「i-Construction（アイ・コンストラクション）」を推進しています。

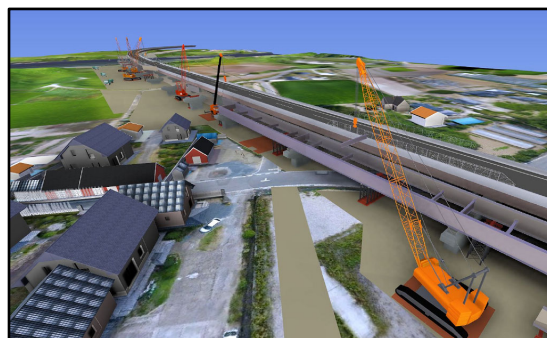
※ Information and Communication Technology の略。情報処理や通信に関連する技術などの総称。

【BIM/CIMの導入】

建設生産・管理システムにおいて3次元モデルを導入し、事業全体で情報を共有することにより一連の建設生産・管理システムの効率化・高度化を図っています。

※ BIM: Building Information Modelingの略。

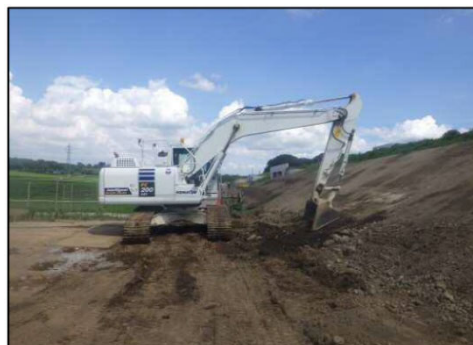
CIM: Construction Information Modeling/Management の略。



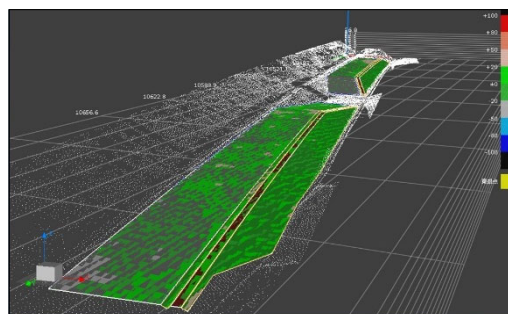
3次元データによる橋梁架設イメージ（圏央道：小貝川付近）

【ICTの活用】

建設現場においてICTを活用した施工を推進しており、生産性の向上を図っています。



MC（マシンコントロール）建設機械による
法面整形の施工状況



レーザースキャナを用いた出来形管理

【事務所独自の表彰制度】

事務所独自の表彰制度を設けています。

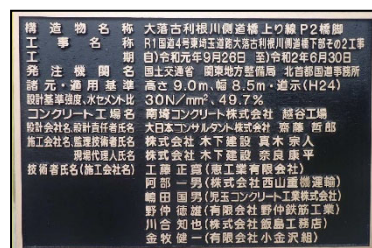
- ①建設業の担い手の確保・育成に関する取り組みをより一層推進することを目的とした
「担い手の確保・育成貢献工事表彰」

- ②新技術の活用により生産性・品質・安全性向上などを図る取り組みをより一層推進することを目的とした**「新技術活用工事表彰」**

※受賞者は、当事務所が総合評価落札方式にて発注する工事において評価されます。

【橋梁銘板の設置】

工事に携わった技術者の氏名等を記した銘板を設置することにより、技術者の誇りを示し、建設業の新たな担い手確保につなげます。



R1国道4号東埴玉道路大落古利根川側道橋
下部その2工事の事例

北首都国道事務所における各種取り組み（2／2）

【現場見学会の開催】

工事現場において、地元小学校等を対象とした現場見学会を開催し、社会基盤整備への理解を深めていただいています。



橋梁の杭に絵を描いてもらいました



杭に描かれた絵

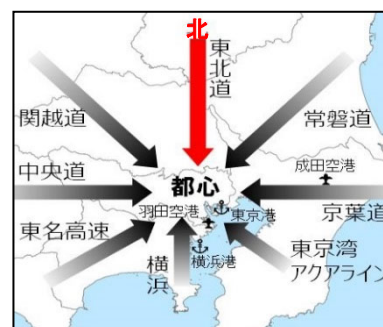
【首都直下地震 道路啓開計画「八方向作戦」】

首都直下地震は今後30年での発生確率が70%※¹であり、その発災時には、北首都国道事務所が北方向から人命救助のためのルートを確認する責任啓開事務所として、道路啓開計画「八方向作戦※²」を実施します。

早期の道路啓開を実現するため、日頃の備えと関係機関との連携を主眼とした防災訓練などの実施を通じて、道路啓開計画の実効性向上と態勢の強化に取り組んでいます。

※¹ 中央防災会議（H17.7）

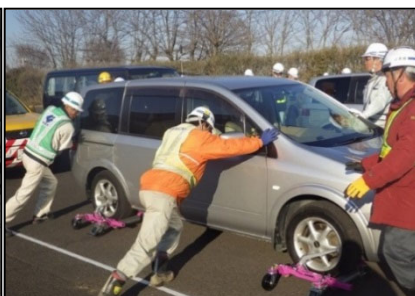
※² 首都直下地震発生の際、都心に向け八方向毎に優先啓開ルートを設定し、一斉に道路啓開を開始します。人命救助の72時間の壁を意識し、発災後48時間以内に各方向（上下線各1車線）計2車線の道路啓開を完了することを目標とします。



首都直下地震に備えた
“八方向作戦”による道路啓開



総合地震防災訓練
（北首都国道支部）の様子



災害協定会社による
放置車両の移動訓練



ドローン、ウェアラブルカメラ
を活用した訓練を実施

令和4年度の道路調査の見通しについて(ネットワーク)

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。

主な調査箇所は、下記の通りです。

概略ルート・構造の検討(計画段階評価を進めるための調査)

埼玉県 かくとしこういきかんせん 核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)

埼玉県圏央道以南地域については、規格の高い道路ネットワークの計画の具体化に向け東西軸の検討を進めるとともに、東部地域は南北軸(国道16号以北)について検討を進めます。

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。また、埼玉県、神奈川県等の首都圏周辺のボトルネック箇所については、道路ネットワークの機能強化や集中的対策に向けた調査を推進します。

さらに、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<道路調査の流れ>

